

【参加されたみなさんの意見】

※太字は、全体共有時に共感を集めたアイデア ※赤字は、参加者から特に多く共感を集めたアイデア

市民が 図書館と	やりたいこと	できること
<p>子どもたちが本に親しむ機会</p> <p>乳幼児</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館にある本をテーマにワークする <ul style="list-style-type: none"> ・本から得た知見を共有し、行動に落とし込む（ベビーマッサージなど） ●移動図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカーのような気軽さ楽しいイメージで ・身近な場所にやってくるワクワク感 ●図書館内でイベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野のイベント（プラネタリウムなど）を開き、その分野への興味を持たせ本の貸出へと繋げる ●キャラクターカートを準備 <ul style="list-style-type: none"> ・わんこカートのようなカートを用意し、図書館へ来る楽しみをつくる ●近所のこどももいっしょに図書館へつれていく ●おうちでおはなし会 ●親子で飛び出す絵本づくり <ul style="list-style-type: none"> ・仕掛けがあったほうがこどもも興味を持つ ・お父さんも参加しやすい ・とびだす絵本を作るのが得意な作家さんがいるので、一緒にする ●居場所となるサードプレイスをつくる（ゆめタウン） <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、本の配達、声出してOK、カフェ、遊べる場所 ●読書通帳の写真版 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが写真好きそれぞれが好きな方法で記入したい ・子どもたちを集めて、本の中の登場人物になりきって本を読んでもらう大人にも見てもらう ●イラストやマンガを楽しく表現できる機会をもつ <ul style="list-style-type: none"> ・本紹介など ●身近に絵本のある環境をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・図書館へいかななくてもいろんところで図書（絵本）が手にとれる場所づくり ●乳幼児健診の会場を図書館の近くにしよう <ul style="list-style-type: none"> ・健診の帰りだと図書館に寄りやすく、きっかけ作りにもなる ●ブックスタートの次の段階へのPR <ul style="list-style-type: none"> ・出張絵本ひろば ●本に親しむハードルを下げる（きちんと読まなくてもいい） ●乳幼児を図書館に連れてくるのは大人なので、大人が興味を持つ仕組み（敷居を低くする仕組み）を作る <p>例：おしゃべりできる、BGMが流れている、寝っ転がれるスペース、散歩するだけで面白い、常設の工作コーナー（折り紙など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●工夫を凝らした読み聞かせ会 <ul style="list-style-type: none"> ・ぬいぐるみを使う・祖父母といっしょに参加（ママは休憩、自分の時間） ・地域の人による読み聞かせ ●絵本の譲渡会 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で不要になった絵本を持ち寄る ●子どもが好きな本を発表 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが好きな本を発表できる時間をもつ（パパママは見守る） ●〇〇と読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> ・音楽×絵本 ・組み合わせは無制限 ・思いがけないイメージが生まれる ●図書館に連れてくるきっかけづくり <ul style="list-style-type: none"> ・たのしいイベント（本にとらわれない） ●おすすめ本を紹介する <ul style="list-style-type: none"> ・ポップを作る ・「こんな本おもしろいよ！」とおすすめ本を口コミで教える ●家で不要になった本を図書館へ寄付する ●土日に読み聞かせを行う <ul style="list-style-type: none"> ・親子そろって紙芝居をする ・親子どちらも楽しいおはなし会をする ●図書館にある本を利用し、読み聞かせをする <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと協力して・学校の図書室でおはなし会をする ●しゃべってもいい、親子で使える部屋をつくる ●健診の時におはなし会のお知らせをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が減ってきているので具体的なお知らせをする ●ぬいぐるみや人形のお泊り会 ●こどもが本に出会える場所をふやす <ul style="list-style-type: none"> ・ちたん文庫のような（図書館以外に）子ども向けの本が見られる場所をふやす ●図書館に行きたいといえば連れてくる ●好きな本の話聞いてやる ●自分の好きな本の話をする

市民が 図書館と	やりたいこと	できること
<p>子どもたちが本に親しむ機会</p> <p>小中校生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館まつりの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、工作、キッチンカー ●下校時の図書館利用 ●親しめる図書館づくり <ul style="list-style-type: none"> ・中高生自身による YA コーナー作り（自分たちが読みたいもの） ・子供が好きな本を発表できる機会 ・ゴロゴロできる ・音楽が楽しめる ●安心できる場所 <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけの個室 ・自分たちで運営できる図書館 ●10代のための部屋 <ul style="list-style-type: none"> ・大人は入れない ・語り合える場所 ・本好きがおしゃべりできる場所（学校では本が好きと言えない雰囲気、真面目だから本が好き、ではない） ●図書館内でイベントを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・専門分野のイベント（宇宙イベント）を開き、その分野への興味を持たせ本の貸出へと繋げる ●本を使って世界の言葉辞典作り ●図書館から「ここから book」に本を貸し出し ●演劇で本の世界を表現する ●「推し活の日」 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が推しの本、人物について語り合う日を決め、図書館内に掲示し、参加者を募る 例)「〇〇推しの人、集まれ！」 ●移動図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・昼休みや放課後に貸出する ●図書館で開催される読書会で交流したい ●小学校での読み聞かせボランティアを地域で募集 <ul style="list-style-type: none"> ・年々読み手が減っていて保護者の方も積極的でない ・やってみたいという方を地域で募集する ●体験型ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> 例：有川浩の「植物図鑑」に載っている雑草を探し、そのレシピで料理し、食べるなど ●夜の図書館で過ごす ●みんなのライブラリー（市民が自分の図書館コーナーを作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ●スマホをいじる時間帯を減らし昔の本を読む ●図書館が居場所になる <ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭で安心できないこどももいる、どちらでもない場所 ●絵本を作ってみる <ul style="list-style-type: none"> ・創作の場にもなりうる ・読むだけ、借りるだけではない ●市民が好きな本 <ul style="list-style-type: none"> ・思い思いの好きが誰かに届く ●学校へ行っておはなしし会をする ●ボランティアで読み聞かせに行く <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな本を学校へ ・休み時間にこどもたちに読 ●こどもたちが普段いく場所で返却できるポスト ●読書通帳の写真版 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが写真好き、それぞれが好きな方法で記入したい ・こどもたちを集めて、本の中の登場人物になりきって本を読んでもらう、大人にも見てもらう ●イラストやマンガを楽しく表現できる機会をもつ <ul style="list-style-type: none"> ・本紹介など ●こどもが本に出会える場所をふやす <ul style="list-style-type: none"> ・ちーたん文庫のような（図書館以外に）子ども向けの本が見られる場所をふやす ●図書館に行きたいといえば連れてくる（小学生） ●自分の好きな本の話をしたり、紹介したりするイベントの開催（ビブリオバトルのバトルなし？） ●家に遊びに来た我が子の友達が本に触れる環境を作る ●「こんな人に読んでほしい」と本を提案

市民が図書館と		やりたいこと	できること
本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ●各家庭での環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・本棚に本を置き、大人も子供も本を楽しむ環境をつくる ●ベビーマッサージ <ul style="list-style-type: none"> ・図書館で意外に思えるイベント ●子育て相談 <ul style="list-style-type: none"> ・関連図書 ・保健師が駐在する日 ●寝る前等タイミングを決めて読み聞かせを行うよう促す ●笑顔であいさつ ●利用者の意識をかえる取組 <ul style="list-style-type: none"> ・館内でこどもが泣いていてもさわいでいてもみんなが見守ることができるように ●発達年齢にあった本を紹介する <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの本の中から自分で選ぶのは難しい、紹介してもらうことで手取りやすくなるのでは ●FM ラジオで読み聞かせ ●親子のワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> 例：絵本に出てくるお菓子作り 例：絵本に出てくるキャラクターをおりがみで作るなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●大人も楽しむ <ul style="list-style-type: none"> ・託児（ママのための時間） ●リラックスして読み聞かせを <ul style="list-style-type: none"> ・親も楽しむ、ただ楽しむ ・将来のため、とか考えない ●興味がありそうな本をたくさんそろえる ●気軽に読み聞かせできるスペースをつくる ●さまざまな家庭に働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会に参加する家庭は親が本好きの方が多い、親が本に興味がなく本に親しむ機会のない子どもたちに向けて参加を働きかけていきたい ●図書館に行きたいといえば連れてくる ●我が子に読み聞かせ ●好きな本の話聞いてやる ●自分の好きな本の話をする
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ●マルシェ <ul style="list-style-type: none"> ・古本市、一箱本棚（一箱館長） ●親子で工作教室（親子ともスマホから離れてすごす） ●メッセージを伝える <ul style="list-style-type: none"> ・図書館はあたたかい安全な場所だと伝える ●葉っぱのフレディの演劇 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間などの取組の一環として、いのちに関する演劇等を上演する ●自分も読書する時間をもつ <ul style="list-style-type: none"> ・家族が読書をしていないとこどもも本を読まない ●夜の図書館イベント <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンなど夜の図書館で開催するイベント ・夜なら出やすい家族に来てみて本を探す体験をしてもらう ●図書館に行きたいといえば連れてくる（小学生） ●親子のワークショップ開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●相談室の開設 <ul style="list-style-type: none"> ・私生活、学校のこと、心配ごと図書館に相談できる人がいる ●みんなで楽しむ図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・共有スペースでの子守り（お互いさま） ・駄菓子屋 ・ほっとできる居場所づくり ●今している取組をアピール ・楽しく伝える ●スマホを触る代わりに本を読む日時を設ける ●こどもの好きな本をプレゼントする ●親子ミニ図書館披露会 <ul style="list-style-type: none"> ・親と子供がそれぞれ好きな本を一つの箱に入れ、家族でつくった図書館に名前を付け、体育館など大きなスペースで披露しあう ●自分が本を読む（姿を見せる） ●図書館に行きたいといえば連れてくる（小学生）

市民が図書館と		やりたいこと	できること
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ●こども園の本を地域へ提供（月2冊まで） ●リクエスト本を学校へ <ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館の本を学校で受け取れる ●ママ友が作りやすい環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆるやかな交流 ・気をつかう関係性ではない出会い ●保育所・幼稚園への出張読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> ・「こちらから行く」ことで図書館を知ってもらう ・来てもらうきっかけにもなる 	
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ●学校図書館の開放 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる図書整理（楽しい場所にする） ・ボランティアが勉強を教えてくれる ・電子図書使い方講座 ・学校図書館カフェ ●学校図書館に行かなくても <ul style="list-style-type: none"> ・廊下や教室でも読める ●学校図書館で自由にすごせる <ul style="list-style-type: none"> ・本を読まなくても行っていい場所になる ●小中高生に読みたい本のアンケートをとる ●学校図書館を地域の人に開放し、交流できる場所に ●子ども同士で本の読み聞かせ <ul style="list-style-type: none"> ・大人にはない視点の選書や紹介が文学や物語に触れるきっかけにもなる ・上級生が下級生や乳幼児に読み聞かせ ●図書館でグループ学習や話し合いができる環境を作る ●学校帰りに図書館に立ち寄りができるようにする ●市の図書館システムと学校図書館のシステムを同じにして、どちらでも借りられ、どちらでも返せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●学区図書館の開放 <ul style="list-style-type: none"> ・ボードゲームを置く ●居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・規則にしばられない ・あたたかい交流の場となる ●図書館の整理に時々行く ●ボランティアに登録する ●学校図書館で、ボランティアと一緒におすすめ本の紹介ポップアップをつくる ●図書館でテスト勉強や宿題ができる環境を作る ●県内どこの本でも借りられる（すでに相互貸借として実施）

図書館が		できること	すべきこと
こどもたちが本に親しむ機会	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館ツアー <ul style="list-style-type: none"> ・こども園などから来てもらう ●移動図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館、カート、キッチンカー ●もっとマンガを置く <ul style="list-style-type: none"> ・本よりも手軽に読める ・マンガをきっかけに本を好きになってもらう ・教養が身につくような本は置くべき（「いじわるのバアさん」など） ・市民が求めている本があることで、使いやすさにつながる ●体験型の絵本講座 <ul style="list-style-type: none"> （図書館×子育て学習センター、図書館×地域の公民館など） ・「どうぞのいす」の設置 <ul style="list-style-type: none"> （ここで「どうぞのいす」を読むもよし、何かお菓子やお土産を置いていくもよし） ●ファミリーデーの実施 ●乳幼児を図書館に連れてくるのは大人なので、大人が興味を持つ仕組み（敷居を低くする仕組み）を作る 例：おしゃべりできる、BGMが流れている、寝っ転がれるスペース、散歩するだけで面白い、常設の工作コーナー ●各図書館でユニフォームを作るなどして色を出す 	<ul style="list-style-type: none"> ●小さな子ども連れていける環境づくり（ママが楽な場所） <ul style="list-style-type: none"> ・おむつかえ、授乳室 ・じゅうたんを敷く（安全にゴロゴロして過ごせる） ●読み聞かせの機会を増やす ●読書のはげみになる工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん本を読んだ子にプクプクシールを渡す ●こどもがのびのびできるスペース（大人とわかる） <ul style="list-style-type: none"> ・少しぐらい声を出しても構わない ・親子で読み聞かせしながら絵本を選べる ●イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・親子一緒に参加できる ●にゃんこカートをつくる ●本に興味に向く工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本のキャラクターの着ぐるみなど ●スペースをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・保護者とこどもがサークル活動できるスペース ・保護者もくつろげるスペース ●本を減らして空間を作る ●季節のイベントを企画し、市民と一緒に実施する ●ゆっくり過ごすために <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店やお弁当を食べる場所がほしい ・こどもがぐずっても気兼ねなく過ごせる場所 ●子の親世代への教育 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代が交流できるイベントを図書館が企画する ・こどもが親以外の大人とふれあえる ・イベントに合わせた本を用意しておいて、借りて帰ってもらう（子育て関連の本など）思いがけない出会い ●読み聞かせのスペースを作る <ul style="list-style-type: none"> そこではおしゃべりもOK ●絵本はきちんと読まなくていい、見るだけでもいいと若いお母さんやお父さんに分かってもらう（ブックスタートですでに実施だが、不十分かも）

図書館が	できること	すべきこと
<p>こどもたちが本に親しむ機会</p> <p>小中学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが利用できる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・図書館巡回バス ・図書館便りの発行 ・移動図書館 ※お菓子付き ・開館時間の延長 ・返却ボックスの数を増やす ●図書館に愛称をつける <ul style="list-style-type: none"> ・固さや敷居の高さをイメージに囚われてしまう「図書館」という名称を使わない ●カフェをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・「図書館」という名称が想起させるイメージの対極にあるもの ・おしゃべり、交流、気楽、わいわい ●体験型の企画 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本に出てくる料理を作って食べてみよう ●小さなコンサート <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが音楽で習ったリコーダーや鍵盤ハーモニカのミニミニコンサート ●図書館マルシェ ●SNSでバズるイベント開催 ●いろいろなところとコラボしてイベント開催 例：屋上を開放して星空観察会 【山南】 ●出張図書館（移動図書館） ●みんなのライブラリー（市民が自分の図書館コーナーを作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが楽しめる環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の設置 ・カフェコーナー（飲食 OK） ・創作本棚設置 ・漫画本の設置 ・リラックスできる音楽やイスの設置 ・性別に関係なく読みたいものを整備 ●こどもの心によりそう <ul style="list-style-type: none"> ・「静かに」を強調しない ・心が動いたら笑ってもいい ・こどもの場所をわける ●意見を出せる掲示板 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたち、10代の意見を表現できる場 ●本に興味をもつイベントを開催 ●色々なジャンルのおすすめポップを展示 ●スペースをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・誰とでもおしゃべりOK ・カフェスペース ・テラス席 ・どんなににぎやかに過ごしてもよいスペース ・友達と遊べるスペース ●図書館に個室空間を作る <ul style="list-style-type: none"> ・ネットカフェのように、人目につかない場所で落ち着いて本を読みたい ●使い終わった参考書を持ち込み紹介するコーナー <ul style="list-style-type: none"> ・使わない参考書を図書館に持って来て、必要な人が持って帰る ・参考書以外にも、市民が持ち込んだ本を（図書館主催の）リサイクルフェアに出す ●観察会 <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会 ・星空観察会 ●少し騒いでもいい場所 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習スペース ●寝転んでOKなヨギボーやクッションのある空間 ●親子で読み聞かせができる場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ソファ、ヨギボー、こたつ、などを設置して、くつろげる場所をつくる ●自分の好きな本の話をしたり、紹介したりするイベントの開催（ビブリオバトルのようなもの）

図書館が		できること	すべきこと
本を通じた 家族の絆を 深める家庭 教育支援	乳 幼 児	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックスタートの工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・提供できる絵本にパパママがこども時代に好きだった絵本を加える、親もこどもの頃の気持ちを思い出せる ●子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・育児書 ・実際に相談できる人がいる ●こどもの本のリクエストを受け付ける ●子育て中の親御さんに子どもと一緒に読んで楽しかった本を尋ねる ●ソファ、ハンモック、ビーズクッションを置く ●もぐりこめる空間を作る <ul style="list-style-type: none"> ・児童書コーナーの真ん中にインディアンテントなどを設置 ●親子のワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> 例：絵本に出てくる菓子作り 例：絵本のキャラクターをおりがみで作るなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●つながりの場になる <ul style="list-style-type: none"> ・地域や PTA などと違う関係 ・ゆるやかにつながる、気軽にしゃべれる ●こども雑誌を充実させる ●読み聞かせのスペースを作る <ul style="list-style-type: none"> そこではおしゃべりもOK
	小 中 校 生	<ul style="list-style-type: none"> ●アウトメディアとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル機器に触れる時間をコントロールし、メディアとの付き合い方を見直す ・スマホ講座 ●本について語り合える場 <ul style="list-style-type: none"> ・親子で、家族で ●進路相談コーナーの設置 ●本の福袋を配布する ●図書館旅部 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアコスモスに遊びに行くツアーを募る ●親子のワークショップ開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭読書の日をもっと大々的に呼びかけ ・具体的なアクションを起こす

図書館が		できること	すべきこと
こどもたちの教育環境の充実のための学校図書館支援	乳幼児	<ul style="list-style-type: none"> ●本に関するカルタやゲームを置く ●図書館司書によるブックトークを『図書の時間』に組み込んでほしい ・一部の学校ではすでに実施、学校だけでなく親にもこういうことをやっている PR することで学校が動いてくれるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館のおすすめ本を貸し出す ●こども園の先生対象の読み聞かせの研修実施 ・選書の仕方、読み方、など
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館の本を学校の図書館で借りることができる ・図書館システムの導入 ●学校図書館の開放 ・フリーWi-Fi ※ゲーム OK ・学校の下校時の寄り道 OK ・勉強、おしゃべり OK ●地域の本の拠点と連携 ・民間設営の文庫、自治協議会、公共図書館など ●公共図書館の司書が選んだ本を学校へ ・テーマを聞いて本をそろえる ・授業でも役に立つ ●移動図書館を時々学校へ ●マンガや雑誌も取り入れて本に親しむ入口をつくる ●悩み相談を図書室でできるようにする→その悩み解決へのオススメ本を紹介 ●家族と一緒に図書室へ行ける日を設ける ●夜間・開放デーの実施（22時くらいまで） ●市の図書館システムと学校図書館のシステムを同じにして、どちらでも借りられ、どちらでも返せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●今やっている取組を PR ・もっと楽しく、広く知ってもらう ●返却ポスト ・いろいろな所で返却できるポスト ●こどもが本に関する情報(電子図書館など)を知れる機会を増やす学校に PR する ●本を読む手段(情報)を伝える ・小4(1/2成人式の時期)に、電子図書館の広報をする ・本のプレゼントの代わりに、本を読む手段(情報)をプレゼントする ●本の好きな子どもが本の PR をする ・大人はその発表の手伝いをする ・発表することが子どもの自信につながる ●学校の先生対象の研修実施 ・おすすめの本の選び方、など ●本を読むところと学習するところのスペース分け(グループ学習のスペースも) ●学校図書館との連携 ●学校司書の設置